

オリック通信 No 8

知って得する洗濯術

【ウォータースポットを家庭で簡単に直すには？】

外出中に急な雨に降られて、服にかかったしずくの跡が斑点状に残ってしまったことはありませんか？これは、ウォータースポット現象が原因と考えられます。ウォータースポットはシルクやレーヨン、テセルなど、お洒落着に使われる生地によく起こります。ですから、お気に入りの服に限ってシミになってしまった・・・ということも珍しくないかもしれませんね。ウォータースポットは、細かい毛羽立ちがある生地水滴などがかった際、水に濡れた部分だけが毛倒れすることが原因です。

生地が乾いても毛倒れしたままのため、光の加減でシミに見えてしまうのです。

これは汚れによってできたシミとは状態が違いますので、目立たなくすることは可能です。

家庭でも簡単にできる方法をご紹介します。



- 1) なるべく細かい霧吹き器を用意する
- 2) ウォータースポットができた服をハンガーにかけて吊るす
- 3) 80センチほど離れたところから霧吹きで水を吹きかけ、服全体をうっすらと濡らす
- 4) 手のひらで表面を撫でて、服全体をまんべんなくしっとりと湿らせる
- 5) 自然に乾燥するのを待つ ※回転式乾燥機がある場合は5分ほど回して乾かす。

これでたいていのウォータースポットは目立たなくなります。ただし、胸のあたりなど目立つ部分にあるものや大きなものなどは専門家にお任せいただいた方が安心です。この方法を行う際、気をつけていただきたいのは3番です。

霧吹き器と服は十分に離して噴霧を行ってください。

服の間近で噴霧するとその部分だけが特に濡れ、さらに大きなウォータースポットができてしまうことがあります。また、この方法を試しても改善しないシミは、別の原因でできた可能性があります。

何度も繰り返すことはせずに、私どもプロにご相談ください。雨が降りやすい季節はバッグの中にいつも折りたたみ傘を忍ばせておくのが、一番のウォータースポット対策といえるかもしれませんね。

